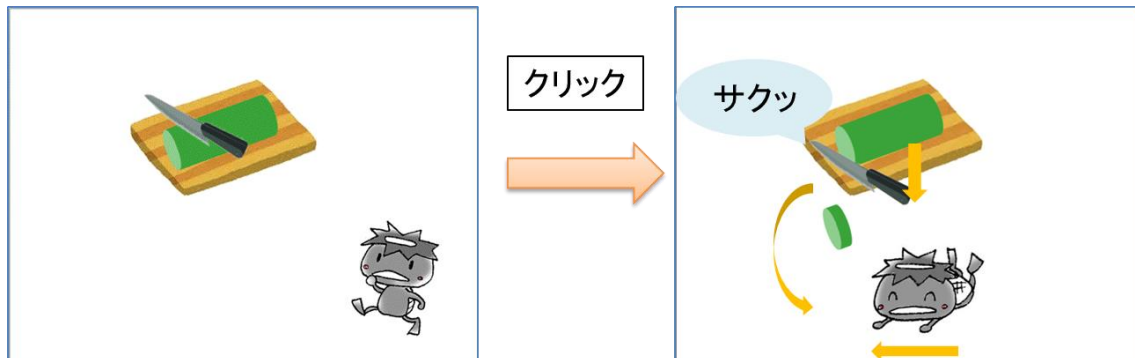


パワーポイント教材制作講座

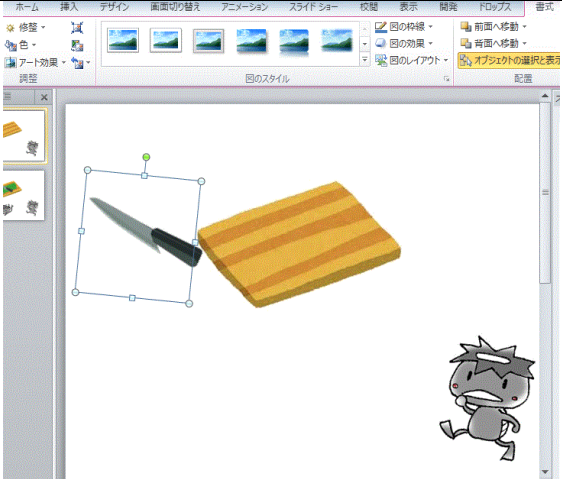
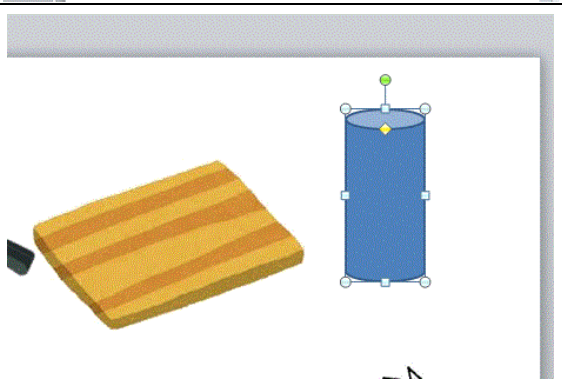
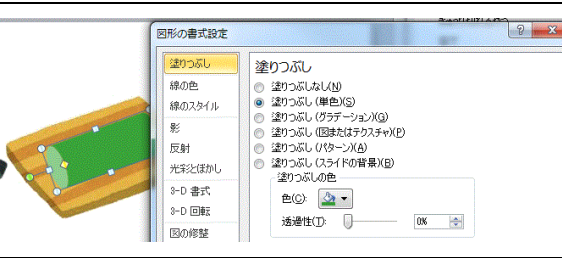
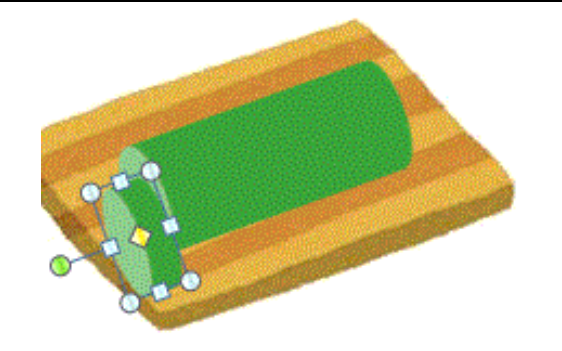
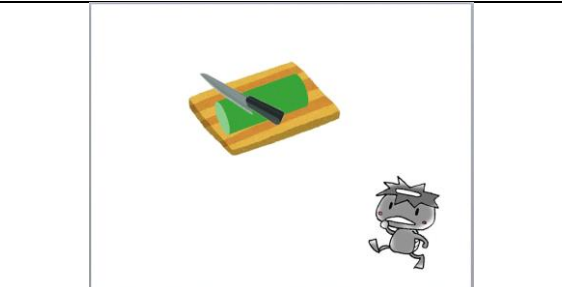
クリック教材ソフトの制作～きゅうりとカップパ～

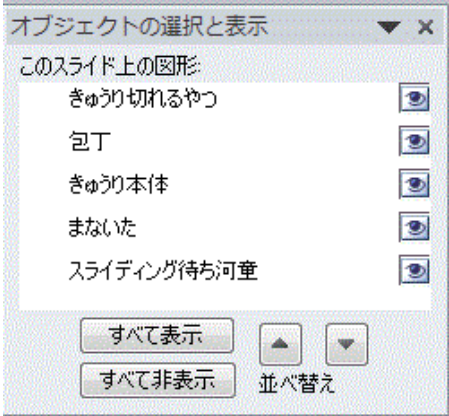
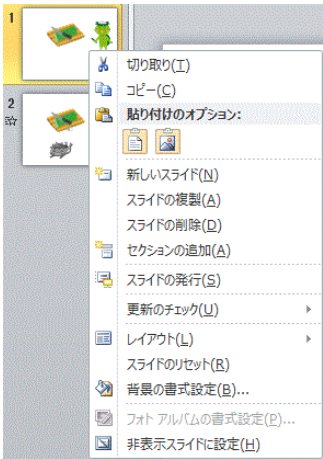
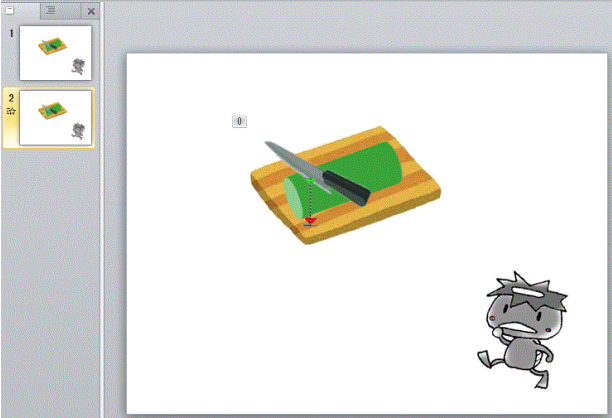

パワーポイントのアニメーション機能を駆使することで、クリック教材や選択教材を作ることができます。ここでは、簡単なクリック教材を制作します。クリックすると包丁できゅうりを切り、そのきゅうりをカップパが食べにくるというアニメーションです。

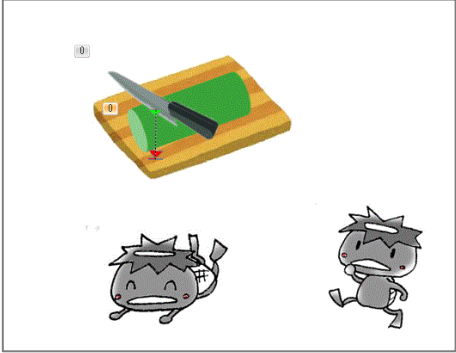
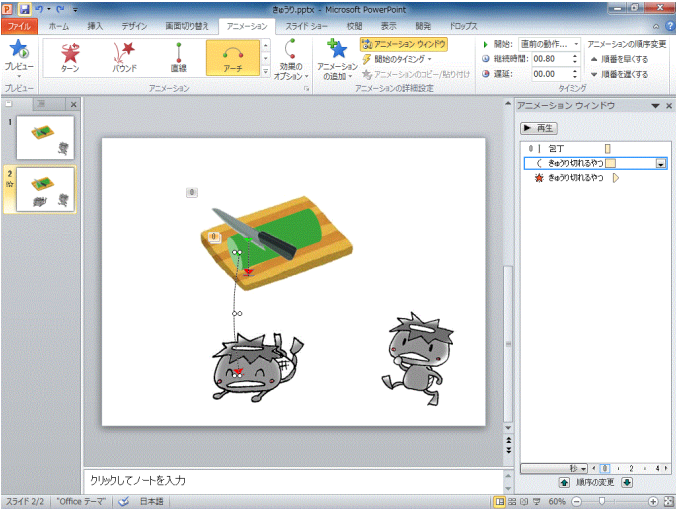
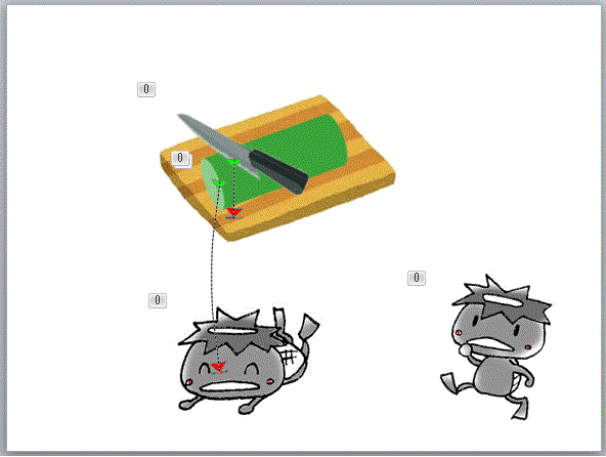


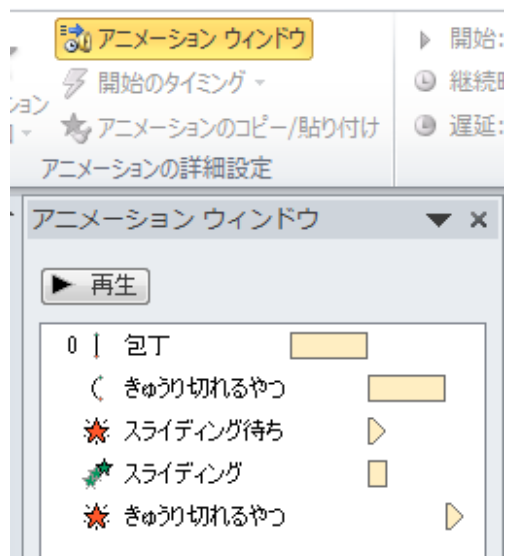
※パワーポイント 2010 版で説明しています
(操作によっては説明を端折っています)

1		スライドの作成 はじめに、スライドの作成を行います。 <input type="checkbox"/> [ホーム]-[レイアウト]-[白紙]を選択します。
2		画像の挿入 配布ファイルの [シンボル] フォルダから「包丁」、「まないた」、「河童 (探す)」の画像をスライドに挿入します。 <input type="checkbox"/> [挿入] - [画像] で画像を挿入します。

3		<p>包丁の背景削除</p> <p>包丁の背景を透明にします。</p> <p>□包丁を選択し（図ツール）〔書式〕－〔色〕－〔透明色を指定〕を選択し、包丁の画像の背景の白い部分をクリック。</p>
4		<p>きゅうりのお絵かき</p> <p>次にきゅうりを描いていきます。（絵に自信のある人はペイント等で描いてください）</p> <p>□〔挿入〕－〔図形〕－〔基本図形〕から円柱を選択。きゅうりをまな板の角度に合うように回転させます。画像の上に表示された緑の丸をドラッグして調整します。</p>
5		<p>きゅうりの色付け</p> <p>次はきゅうりの色を変更します。</p> <p>□円柱を右クリックし〔図形の書式設定〕を選択〔塗りつぶし〕－〔色〕から緑色を選択。〔線の色〕－〔線なし〕をチェック。</p>
6		<p>切れたきゅうりの作成</p> <p>切れて落ちていくきゅうりをつくります。</p> <p>□きゅうりを選択し「ctrl+C」→〔ctrl+V〕またはきゅうりを右クリックし〔コピー〕→〔貼り付け〕で複製します。コピーしたきゅうりの長さを短くし、黄色いひし形をドラッグして切り口の調整してください。</p>
7		<p>きゅうりと包丁の配置</p> <p>□きゅうりをぴったりくっつけ、包丁はふたつのきゅうりの間に置きます。</p>

8		<p>オブジェクトに名前を付ける</p> <p><input type="checkbox"/> [ホーム]-[選択]-[オブジェクトの選択と表示]を選択し名前を変更します。</p> <p>※ダブルクリックで名前変更できます。</p> <p><input type="checkbox"/> また、[並べ替え]の[▲][▼]で配置順を上から「きゅうり切れるやつ」→「包丁」→「きゅうり本体」→「まないた」の順に並び変えてください。</p> <p>※説明に出てくる名前と画像の名前が違う場合があります。<u>わかりやすい名前</u>を付けてください</p>
9		<p>スライドのコピー</p> <p>スライドのコピーを作成します。</p> <p><input type="checkbox"/> 左のスライドを右クリックして [スライドの複製] を選択します。</p> <p>コピーした二枚目のスライドに以下のアニメーションを付けていきます。</p> <p>《きゅうりを包丁で切る。きゅうりが落ちる。カップ(探す)が消え、カップがスライディングしてくる。カップがきゅうりを食べて消える。》</p>
10		<p>包丁のアニメーション</p> <p>包丁で切るアニメーションを付けていきます。</p> <p><input type="checkbox"/> 二枚目のスライドを選択します。包丁を選択し [アニメーション] - [アニメーションの追加] - [アニメーションの軌跡] から [直線] を選択します。まないたの上で止まるように赤い矢印の下に白い丸をドラッグして調整します。</p> <p>※継続時間等はあとで変更します。</p>
11		<p>アニメーションの効果音</p> <p>包丁で切る音をアニメーションと一緒に再生させます。</p> <p><input type="checkbox"/> [アニメーション] - [アニメーションウィンドウ] を選択。アニメーションウィンドウ上の包丁のアニメーションを右クリックして [効果のオプション] - [サウンド] - [その他のサウンド] を選択、[サウンド] フォルダから cutting を選択します。</p>

12		<p>スライディング河童現る</p> <p>□まないたの下に [シンボル] フォルダから「河童 (スライディング)」を挿入。右クリックして [最背面へ移動] を選択。</p> <p>※ここでもオブジェクトに名前を付けてください。</p>
13		<p>きゅうりのアニメーション</p> <p>次にきゅうりが落ちて消えるアニメーションを付けていきます。</p> <p>□切れて落ちるきゅうりを選択します。[アニメーション] – [アニメーションの追加] – [アニメーションの軌跡] から [アーチ] を選択します。[効果のオプション] から [左] を選択します。河童の口にきゅうりが入るように調整します。</p> <p>[アニメーションの追加] – [終了] から [クリア] を選択します。</p> <p>※ [プレビュー] でチェックをしながら進めてください。</p>
14		<p>河童のアニメーション</p> <p>カッパが消えてスライディングしてくるアニメーションを付けていきます。</p> <p>□「スライディング待ち河童」を選択します。上記と同じように [クリア] を選択します。</p> <p>□「スライディング河童」を選択します。[アニメーションの追加] – [開始] から [スライドイン] を選択します。[効果のオプション] – [右から] を選択します。</p>

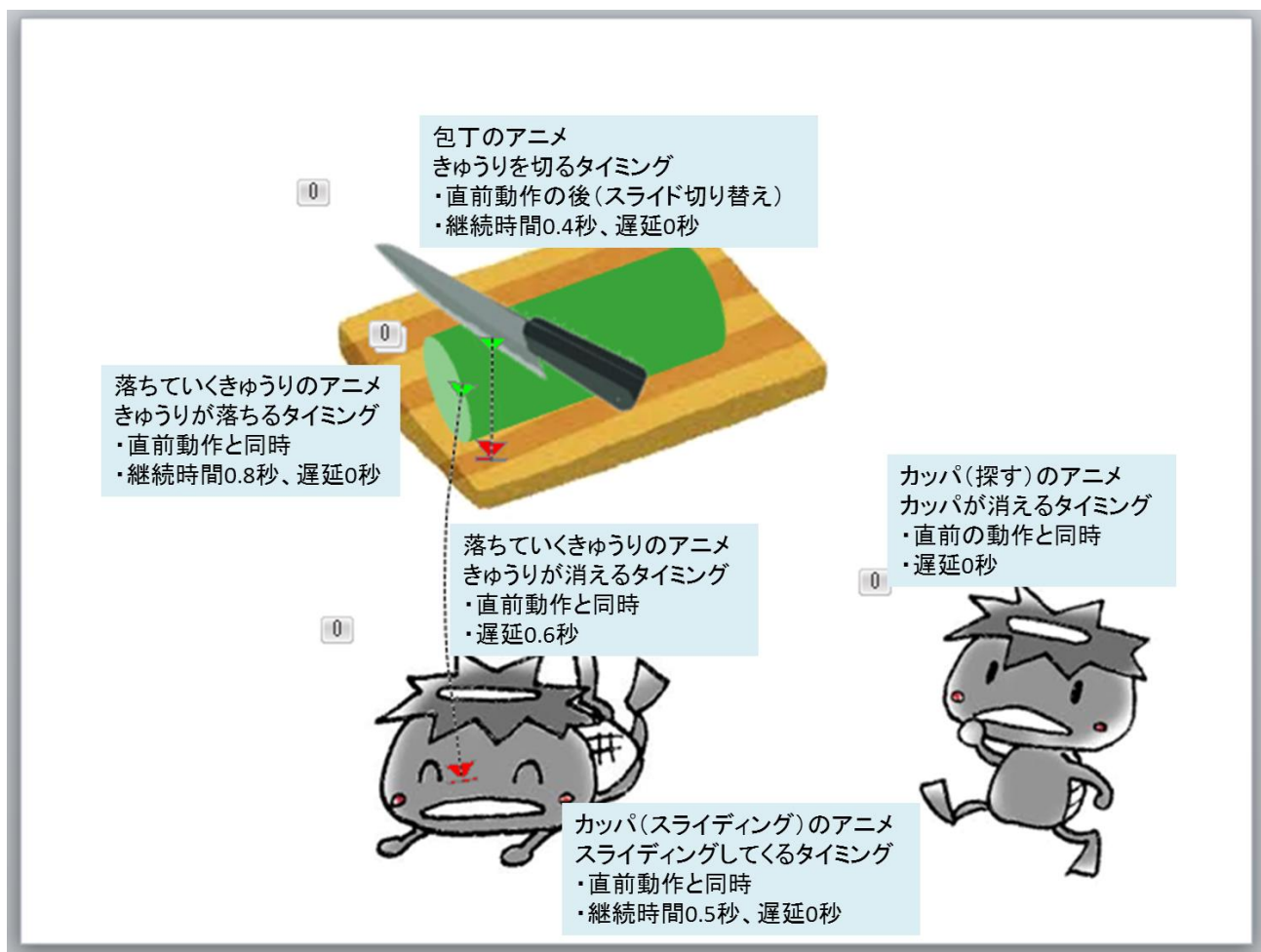


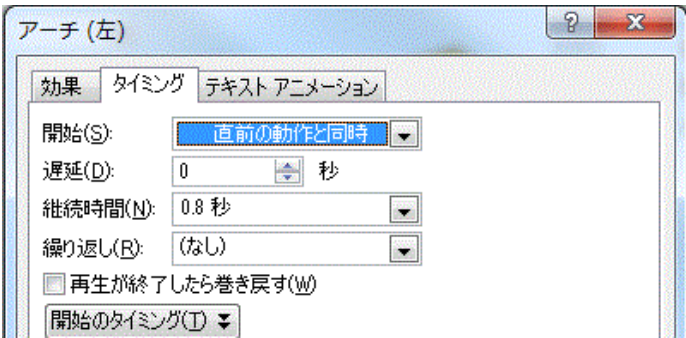
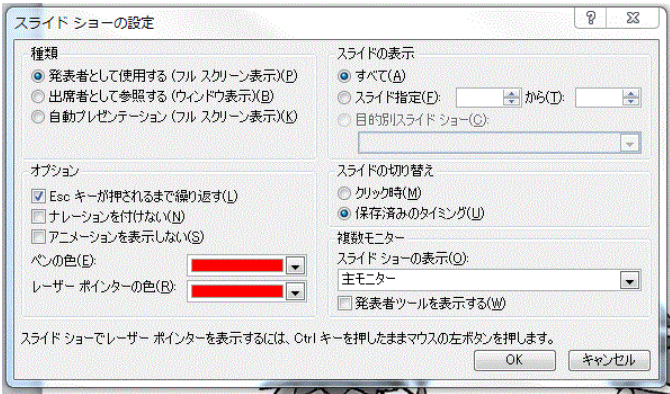
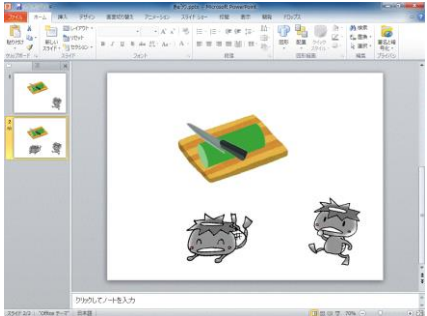
アニメーションのタイミング

□ [アニメーションウィンドウ] を選択します。左図と同じようにアニメーションの順番をドラッグで入れ変えてください。アニメーションウィンドウ上の包丁のアニメーションを右クリックし [直前の動作の後] を選択します。きゅうりが落ちるアニメーションは [直前の動作の後] を選択します。カッパが消え、スライディングしてくる2つのアニメーションは [直前の動作と同時] を選択します。切れたきゅうりが消えるアニメーションは [直前の動作の後] を選択します。

ここで一度プレビューをしてみてください。動きがぎこちないと思いますがアニメーションは一応完成です。アニメーションのタイミングを自然にするためにはタイミングの微調整が必要となってきます。

自然なアニメーションにするために下図と同じようなアニメーションのタイミングを、次のステップで調整していきます。



16		<p>アニメーションの時間調整</p> <p>□ [アニメーションウィンドウ] からきゅうりのアニメーション [アーチ] を右クリックし [タイミング] を選択し [継続時間] を 0.8 秒程度に設定します。</p> <p>□ 同じように包丁のアニメーションの [継続時間] も 0.4 秒程度に設定します。</p> <p>□ 「きゅうり切れるやつ」のアニメーション [クリア] の [タイミング] を選択し [遅延] を 0.6 秒程度に設定します。</p>
17		<p>繰り返し実行の設定</p> <p>□ [スライドショー] – [スライドショーの設定] から [オプション] 中の「Esc キーが押されるまで繰り返す」を設定します。</p> <p>□ [画面切り替え] – [自動的に切り替え] にチェックを切り替えて 1 秒程度に設定します。</p> <p>□ [ファイル] – [オプション] – [詳細設定] – [スライドショー] – [最後に黒いスライドを表示する] のチェックを外してください。</p>
18		<p>動作確認</p> <p>スライドショーを実行して、動作を確認します。問題なければ完成！！</p>

※音声ファイルは <http://taira-komori.jp/freesound.html> から引用しています。